

生糸品質改善対策

生糸品質改善委員会

最近に於ける海外需要者の要望と生糸市場の動向に鑑み生糸品質改善のため差当り織度偏差、練減及びエクスホリエーションの改善に重点をおいて左の措置を講ずることが極めて緊要である。

一 蚕種に関する事項

1. 蚕品種は次の目標により選択すること。

- (1) 繭糸織度は多粒定粒繰糸に適するもの、例えば21中用2.6デニール、14中用2.3デニール
- (2) 繭糸の総合織度偏差は繭糸織度2.6デニールものは0.4デニール、2.3デニールものは0.4デニール以内
- (3) 繭層練減26%以内
- (4) 小節点92点以内
- (5) 解舒率80%以上
- (6) エクスホリエーション成績の向上に努め、殊にラウジネス用品種についてはエクスホリエーションの等級点75点以上

2. 蚕種製造用原蚕分場の設置は優先的に扱うこと。

二 原料繭に関する事項

1. 原料繭の整齊度を良くし、一荷口内の整齊と荷口間の繭を均齊にするため左の措置をとる。

- (1) 蚕品種の素質の維持統一を図るため蚕品種の管理を強化すること。例えば現在の指定蚕品種について再検討し或は原則として春蚕用品種として指定されたものを夏秋用に、夏秋蚕用品種として指定されたものを春用に使用しない等。
- (2) 指導組織（県、団体、業者）間の養蚕技術の統一を図ること。
- (3) 揃立蚕種は一組一品種一製造業者とすること。
- (4) 繭の団体取引を推進すること。
- (5) 原料荷口の調整にあたりては異品種は勿論同一品種についても繭質に応じ厳密に之を行うこと。

2. 上簇改良のため優良簇器の普及を促進すること。

3. 繭の検定格付方法を改正し、且つ繭価決定に当つては繭の品質に応じて取引が行われるよう格差を適正に定めること。

三 製糸に関する事項

1. 生糸織度の均齊化、就中飛織度をなくすためには次のことに留意すること。

- (1) 定粒混繰を厳守すること。
- (2) 原料繭の性状及び繰糸技術に適応して合理的な繰枠廻転速度とすること。
- (3) 繭粒選別を行つて定粒化及び繭粒整齊をはかること。
- (4) 指導者及び繰糸工員を再訓練すると共に品質管理の徹底をはかること。

2. 練減率を一定限度以下（22%以内を目標）に留めるには次のことに留意すること。

- (1) 適正なる煮繭を励行すること。

MEMO

(2)歩乾燥糸を行わないこと。

3. 類節の向上をはかるには次のことに留意すること。

(1)選繭を厳正に行うこと。

(2)適正なる乾燥、貯繭、煮繭を励行すること。

(3)適正なる索緒、抄緒を励行すること。

(4)釜整理をよくすること。

(5)集緒器の孔径の適正なものを使用し且つ揚返しの際クリーナーを使用すること。

(6)糸条故障整理技術の向上をはかること。

(7)蛹繭の断緒点(除繭)を適正なものとし、これを励行すること。

四 エクスホリエーション高点生糸の生産に関する事項

1. 急速にラウジネスの少い優良蚕品種の育成を行うこと。

2. 高点生糸の経済性把握のため必要な調査を行うと共に生糸市場確保のため差し当り極高級もの 3,000俵とこれに次ぐもの12,000俵の確保を図ること。

五 生糸及び繭の練減及びエクスホリエーションの実態を明らかにする措置を講ずること。

六 生糸品質の改善に関する研究(差し当り蚕品種改良、葉質環境と練減及びエクスホリエーション、索緒効率、束装改善等)を強化すること。

七 製糸設備の近代化を促進すること。

以 上